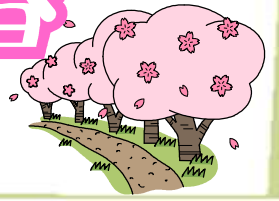


星川だより

春



熊谷空襲を忘れない市民の会 会報

「ミス・マルクスといま・ニー」

小川美穂子



紀英国のクラシックでいてモダンな、いつてみれば、作品に挟まれるフィルム・ノワールみたいなモノクロ写真（II米国と英国の工場労働者達）のイメージです。ピンクはフェミニズム。音楽もクラシックとパンクとが映像にあわせ、というか監督の言葉でも「キヤラクターの一つ」です。衣装も家屋も同様のこだわりで彩られています。

そう、マルクスの溺愛した末娘・エリノア・マルクスを演じたロモラ・ガライ（1988年英国領香港生まれ）とスザンナ・ニツキヤレツリ監督（2019年ローマ生まれ）が、時代と場所を越えて作り出した物語は、過激で美しく、「前へ進め」で終わります。結末が、自己を引き裂かれたエリノアの服毒自殺ではあっても、終わらないのです。

二月十九日、朝九時半の上映。痛む足を引きずりつつ、遅刻しながらも籠原から深谷シネマをめざしました。寸前まで逡巡し、やめておくといい選択は×にして大正解。紳士然としたタクシードライバーとは「深谷シネマってどこなんですか」「えーっ」と話し込み、自分の現状認識も正されました。なんとか「ドライブ・マイ・カー」予告編には間に合っ。あー。来週もまた時間作んなきゃ。

そして映画本編です。冒頭のバックはパンクミュージック。パンクもそうなのですが、「黒とピンク」がこの映画の基調。黒といつても、十九世紀英国のクラシックでいてモダンな、いつてみれば、作品に挟まれるフィルム・ノワールみたいなモノクロ写真（II米国と英国の工場労働者達）のイメージです。ピンクはフェミニズム。音楽もクラシックとパンクとが映像にあわせ、というか監督の言葉でも「キヤラクターの一つ」です。衣装も家屋も同様のこだわりで彩られています。



父の秘書役、父の没後は仲間との活動、米国縦断遊説などをこなしつつ、イブセン「人形の家」他翻訳、主演などに活躍しましたが、歴史の闇に埋もれていました。それをこんなにも魅力的に造型できたのは、製作チームそれぞれの問題意識の鋭さによるものでしょう。この複雑な一見では繁栄しているかのような現代に潜む闇と不実を照らし出す映像の迫力と重さ。映画館を出てからも、私の胸に原典仏語「インターナショナル」が響き続けていました。

付け加えれば、私には今作が米国のダウンタウン・ボーイズとの邂逅。監督は彼らの主義主張とメランコリックなサウンドのファンで、そのアレンジによる労働者にとつての聖典である名曲は、結末のロングショットをも彩ります。同じくシヨパンやリストの編曲演奏も長年監督とタグを組むGOREE。パンクミュージックに乗せて踊り狂う圧倒的なパフォーマンスを演じた女優は大きい映画館で観てほしいと語っています。

（二月二十二日記）

去年、人間国宝だった柳家小三治が逝った。数年前だが、落語を出汁にした飲み会グループがあり、失礼な話なのだが、小三治の落語がいつ聞けなくなるかも知れないということ、夜遅かったが板橋まで出かけた。その時のまぐら何だったか、オリンピックだったかも知れない。小三治といえ、まぐらが長いので有

私たちは、オミクロン株の蔓延を目の当たりにし、遅々として進まない3回目のワクチン接種に愕然として、ひたすらこの新型コロナウイルス感染症の流行が治まってくれ、個人のことなのだが、年末に体調を崩し目が開けられない日が続いた。本も読めない、耳から音楽三昧・落語三昧の日々でもあった。



～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行

口座記号・記号:00100-7-265321

加入者名:熊谷空襲を忘れない市民の会

口座名称カナ:クマガヤクウシュウワスレナイ
シミンノカイ

他行からの振り込みの場合は

店名(店番):0一九店(019)

預金種目:当座

口座番号:0265321

会計報告(2021/9/27~2022/3/8)

収入:25,500円

支出:19,936円

残高:131,851円

編集委員 吉田庄一、小川美穂子、米田主美

連絡先 吉田庄一(090-4957-9181)

メール imajn241@gmail.com

HP http://www.peace-kumagaya.org/

名だが、もともとは短く落語の演目に繋げる前振り程度だったという。確かに若い時の落語を聞くとそうなのだ。

小三治のまくらによく出てくる句会の話がある。東京やなぎ句会といひメンバーに宗匠、入船亭扇橋、永六輔、小沢昭一、加藤武などの名が連なる。今や鬼籍に入ってしまった面々だが、句会をやるため、中国に行った話が面白い。まくらなので、細かなことはお目こぼししてほしい。延安大学で句会を開催する運びになっていたが、「小泉首相が靖国神社に行き、チャリンとお賽銭500円あげちゃった。これに中国の若者が怒って、あちこちでデモンストラして、結局句会は流れた」その時の話なのだ、加藤武が盛んに「こ

んな人が多いんじゃないや戦争に勝ちっこない。勝てない」といつていた。小三治にしてみると、永六輔も小沢昭一も戦犯扱い。戦争を始めた時の大人たちが落語の妙といえるのだが「中国で日本軍は戦争に勝つんです、負けない。しかし敵は逃げちゃう。すると中国軍を追いかけ戦争する。そして勝つのだが敵はどんどん奥地に逃げる。日本軍は追いかけてどんどん奥地に入り込んで行っちゃった。すると戦争が通過した地域は、何事もなかったように人がわっと湧いてきて普通の生活している。」文字起こしすると違うかもしれないが、こんな意味のことをまくらにしていた。戦争は大勢の人が死ぬので多方面からお叱りを受けそうな話な

のだが、短い言葉で日中戦争の一面を的確に表現していると思う。日本軍は中国大陸で勝てない戦争を、国内では勝った、勝ったと言いつつ泥沼にはまっていた。応戦している中国軍も、諸外国もなんで日本軍が戦争しているのか、戦争の目的もわからなかったそう。

日中戦争は宣戦布告もなく、大義もない戦争、陸軍の戦争指導班も停戦を模索していた。ドイツが仲介して停戦直前まで行ったが、戦争を止めなかった。「暴支膺懲」中国の横暴を懲らしめ、南京政府を謝らせる。陸軍が掲げたスローガンだが、今見ればどっちが横暴だったかよくわかる。結局戦争に勝てないのは、イギリスとアメリカが蒋介石を支援しているからだとして、援蒋ルートを断ると、南進して太平洋戦争に突入していく。

この文章を書いているとき、プーチンのロシアがウクライナに侵入して戦争を始めた。プーチン自身が語る理由も目的も言い訳的で、彼の野心が透けて見える。戦争は愚かな人間が引き起こす。しかし、その行為で大勢の人が死ぬ。私たちは反戦の旗を掲げ続けなくてはならないと思う。



熊谷平和講座

● 4月29日(金)

● 13:30~15:00

● 市民活動支援センター

● 講師:加藤一夫

● 戦後を総括する4

「1980年代昭和の終焉」



・コラム・ウクライナに平和を!

2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始しました。どんな理由であれ武力を持って他国に攻め入る行為は許されません。一義的には軍事侵攻を命じたプーチンの責任です。次にウクライナのゼレンスキーにも、ロシアに攻め込まれ戦争状態になった責任はあります。現実的に一般市民の死者が出ています。そういった事態になるのを回避させるのが政治です。同じようにプーチンにも言えます。たとえ軍事施設を狙っているだけといっても一般人の犠牲者は出ます。サルトルは戦争を起こすのは金持ちで死ぬのは貧乏人といっています。戦争は外交の失敗です。そんな時、出番は国連でしょう。ロシア非難決議だけでなく、国連の戦争回避・仲裁機能を高めなくてはと思います。(吉田)

欲望と報復の連鎖の中で

米田 かずみ

その子は皿の食べ物

片手ですくいながら空を見上げる

青空が美しいからではない

空から落ちてくるものが怖いからだ

焼かれて家がない子には

一枚の皿があるだけ

無邪気に遊んでいた子が

午後には足が焼けただけ

骨が飛び出す

泣いても泣いてもあきらめしかない

涙まで破壊されたから

神は隣国の医師を授けた

一人の子に医師の手が

何本あったら足りるのか

しだいに

子どもたちはみんなと同じ足を

欲しがらなくなった

医師が造った足に感謝し

修復に夢を見たからだ

大人たちの

欲望と報復の連鎖の中で

居場所を求めて

今日も彷徨う子どもたち